

## 提案書評価基準

### 1 基本的な評価事項

表 1 のとおり。

表 1 基本的評価事項

評価項目 ( )配点例	評価の着目点	配点	評価	評価の 換算式	評価点
予定技術者の 業務実績 (20点)	本業務に活かすことのできる過去の業務実績や 経験があるか (過去10年間)	20			
提案内容 (80点)	業務内容を的確に理解しているか	20			
	実現性の高い提案であるか	25			
	先見性のある視点を取り入れられているか	25			
	取組意欲の感じられる提案であるか	10			
評点の合計					

### 2 評価方法

(1) 各評価項目について、次のように評価を行う。

ア 提案者の業務実績は、A、C、Eの3段階評価を行う。

イ 提案内容は、A、B、C、D、Eの5段階評価を行う。

(2) 評価点について、次のように配点を行う。

ア 提案者の業務実績は、20点満点とし、A=20点 ( $20 \times 5/5$ )、C=12点 ( $20 \times 3/5$ )、E=4点 ( $20 \times 1/5$ )とする。

イ 提案内容は、それぞれの配点に、換算した評価 (A=5/5、B=4/5、C=3/5、D=2/5、E=1/5とする。)を乗じて算出する。

例えば、表1において配点20点の項目の場合

評価がAであれば評価点は  $20 \times 5/5 = 20$  点

評価がBであれば評価点は  $20 \times 4/5 = 16$  点

評価がCであれば評価点は  $20 \times 3/5 = 12$  点

評価がDであれば評価点は  $20 \times 2/5 = 8$  点

評価がEであれば評価点は  $20 \times 1/5 = 4$  点

(3) ア及びイの評価項目の評価の視点は、表2のとおりとする。

(4) 評価が同点となった場合は、「業務実施体制」等の内容についても加味しながら、評価委員会に出席した委員の多数決で決し、票数が同数の場合は、委員長の決するところによる。

表2 評価の視点

評価項目	評価の着目点	評価				
		A	B	C	D	E
予定技術者の業務実績	本業務と類似した業務実績、経験の内容	本業務と類似した業務実績や経験が豊富にある		本業務と類似した業務実績や経験がある		本業務と類似と考えられる業務実績や経験がない
提案内容	業務内容を的確に理解しているか	的確に理解している	理解している	どちらともいえない	あまり理解していない	理解していない
	実現性の高い提案であるか	実現性が特に高い	実現性がある	どちらともいえない	実現性が低い	実現性がない
	先見性のある視点が取り入れられているか	十分取り入れられている	取り入れられている	どちらともいえない	あまり取り入れられていない	取り入れられていない
	取組意欲の感じられる提案であるか	強い意欲が認められる	意欲が認められる	どちらともいえない	あまり意欲が認められない	意欲が認められない